令和８年度前期　札幌支部活動報告

北海道学校体育研究連盟　札幌支部　研究部長　佐藤　洸輔

１　年間活動計画

札幌市学校体育研究連盟「定期総会・研修会」	５/１（金）　　会場：三川屋会館 令和７年度業務活動報告、令和８年度業務推進計画、令和８年度研究構想　等
第１回役員会	５/13（水）
事務局会	①５/21（オンライン）　②６/12（中島体育センター）　③８/19（オンライン） ④11/26（中島体育センター）　⑤２/16（会場未定）　⑥４/15（会場未定）
研究総論についての理解を深める学習会	７/８（水）　会場：札幌市立啓明中学校 授業者：河合　甫教諭　　１年生球技　ベースボール型「ソフトボール」
夏季体育研修会	７/29（水）　　会場：札幌市立美園小学校　　参加者：１３０名程度
第 34 回札幌市学校体育研究大会	10/23（金）　　会場：札幌市立盤渓小学校　　視点１環境設定ブロック 授業者：重本　喜一教諭　　６年生器械運動　マット運動
ブロック研究授業①	12/23（水）　　会場：札幌市立宮の森小学校　　視点２学習過程ブロック 授業者：安井　将弥教諭　　６年生ボール運動　ネット型
ブロック研究授業②	２/17（水）　　会場：札幌市立柏丘中学校　　視点３教師の関わりブロック 授業者：秀島　康生教諭　　学年未定球技　ネット型
冬季学習会	１/８（金）　　会場：札幌市立美園小学校

２　活動報告

研究主題　　体育・保健体育を学ぶ「意義や価値」を実感する子ども

研究副主題　　自己調整を通して、運動の楽しさを深め、広げる体育・保健体育学習

（１）研究総論についての理解を深める学習会

新研究の理解を深めることを目的として、昨年度の全国大会の実践をベースにして授業検討・実践を行った。**小学校・中学校の教員が一緒に授業づくりを行うことで、領域・単元における目指す姿の系統についての理解を深める**ことができた。授業では、多くの生徒が必要な技能を身に付けており、苦手な生徒も「分析等で頑張りたい。」と自身の役割を話し、お互いを尊重しながら学び合う姿が見られた。協議会では、**各視点における要点を授業での子どもの姿を基に確認するとともに、自己調整を子どもに「させる」ではなく、子どもが「したくなる」授業を追求していくことを共有**することができた。

（２）夏季体育研修会

例年行っている札幌市内の連盟会員の他、一般教員にも呼び掛けて行っている「夏季実技研修会」を今年度から「夏季体育研修会」と改め、授業づくりや日常の体育授業での困りに答える座学ブースも設置して行った。前後半それぞれ三つずつ、計六つのブースから参加者が選択する形にすることで、より主体的に研修を進められるようにした。研究部員だけではなく、連盟会員に広く講師をお願いすることで会員同士のつながりができ、研修会に向けた準備の過程で学びを広げている姿が見られた。研修の中で、**コンテンツの紹介に終始するのではなく、それらがどのような機能を果たしているのかを伝えることを大切にすることで、他の領域や単元に汎用できるようにすることを心掛けた。**







※各ブースについて　【　】は特に重点を置いた内容

①単元で育てよう！授業づくり講座（座学）【授業づくり】
②単調じゃなくて楽しい陸上運動【運動特性】【場づくり】
③悩まず２学期からやってみよう表現運動【教材化（テーマ設定）】【教師行動】
④日常体育 Q&A【日常の体育授業困り解消】
⑤苦手な子も得意な子も輝くボール運動【教材化（ルール設定）】【教師行動】
⑥苦手な子も「できた」がどんどん増える器械運動【系統性】【準備活動】